

## 第3章 生活排水処理の基本方針

### 1) 生活排水処理の基本的な考え方

本市では、地域特性やその地域計画に適した処理形態を選定していく方針です。  
生活排水処理の基本方針は、以下のとおりです

#### ◎基本方針

- ①市街地における生活排水の処理については、公共下水道によりその処理を行うものとし、下水道整備事業の推進を図ります。
- ②家屋が散在し、集合処理が適していない地域については、個別処理として合併処理浄化槽の普及を進めます。
- ③流域下水道とし尿処理施設の連携による処理の効率化を図ります。

### 2) 生活排水処理の目標

さらなる生活排水処理率の向上を目指すことから、し尿等の収集量は、減少する見通しです。

今後も、引き続き生活排水の適正処理に取り組み、生活排水の約99%処理を目指すものとします。

本市では、この目標を達成するために、以下に示す事項について、取り組むこととします。

- 公共下水道計画区域内
  - ・公共下水道接続の啓発
  - ・下水道整備事業の推進
- 公共下水道計画区域外
  - ・汲み取り及び自家処理、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への設置転換

#### — 生活排水の処理目標 —

	現在（平成22年度）	目標年度（平成33年度）
生活排水処理率	97%	99%

#### — 人口の内訳 —

	現在（平成22年度）	目標年度（平成33年度）
1. 計画区域内人口(人)	79,873	73,740
2. 水洗化・生活雑排水処理人口(人)	77,672	72,849

生活排水の処理目標を念頭に、目標年度における生活排水の処理形態別内訳は以下のとおりです。水洗化・生活雑排水処理人口は、72,849人、生活排水処理率は99%

が達成されます。

— 生活排水の処理形態別内訳 —

		H17	H22	H33	
人口動態等	1.計画処理区域内人口	(人)	78,293	79,873	73,740
	2.水洗化・生活雑排水処理人口	(人)	69,430	77,672	72,894
	(1)合併処理浄化槽人口	(人)	1,681	438	245
	(2)公共下水道人口	(人)	67,749	77,234	72,649
	3.水洗化・生活雑排水未処理人口 単独処理浄化槽人口	(人)	8,006	1,815	806
	4.非水洗化人口	(人)	857	386	252
	(1)し尿収集人口	(人)	846	381	252
	(2)自家処理人口	(人)	11	5	0
	5.計画処理区域外人口	kL/日	0	0	0
	要処理量	6.し尿収集量	kL/日	3.6	2.2
7.浄化槽汚泥槽		kL/日	5.3	3.5	1.9
8.要処理量		kL/日	8.9	5.7	3.1
9.計画処理量		kL/日	—	7.4	4.0

### 3) し尿・浄化槽汚泥の処理計画

#### (1) 収集・運搬計画

##### ●収集・運搬の方針

公共下水道の普及拡大が進められたことにより、し尿等の収集量は年々減少傾向にあります。今後も公共下水道の普及により、し尿処理量及び汚泥収集量共に減少していくことが予想されますが、今後も、引き続きし尿処理を適正に行っていく必要があります。現段階では、現状の収集・運搬体制で行うものとし、状況に合わせて適時対応するものとしします。

##### ●収集運搬の方法及び量

##### ①収集運搬体制

収集・運搬体制については、現状のとおりとし、し尿については直営で行い、浄化槽汚泥については許可業者が行うものとして、し尿処理施設に搬入します。

なお、将来的にはし尿の収集量及び浄化槽汚泥は減少してくるため、排出量減少への対応、計画的な収集作業の指導により、より安定した収集・運搬を行っていくものとしします。

##### ②収集・運搬機材

バキューム車による収集・運搬方式としします。

##### ③収集方法

一般世帯及び事業所等の申し入れにより、月1回の収集計画を行います。また、浄化槽については、年1回以上の清掃を指導します。

##### ④収集・運搬対象物

収集対象区域から発生するし尿及び浄化槽汚泥全量としします。

##### ⑤収集・運搬量

し尿・汚泥の排出状況は、以下のとおりです。

— し尿・浄化槽汚泥の排出量の予測 —

	H17	H22	H23	H25	H28	H31	H33
し尿収集量	3.6	2.2	2.1	1.9	1.5	1.3	1.2
浄化槽汚泥量	5.3	3.5	3.3	3.0	2.5	2.0	1.9
処理量	8.9	5.7	5.4	4.9	4.0	3.3	3.1

(2) 中間処理

●中間処理の方針

公共下水道の普及により、し尿処理施設の稼働状況は減少の一途をたどるため、平成18年度に隣接する下水道終末処理施設への投入を実施するため改良工事を行い、平成19年度より投入を開始しています。

①中間処理の体制

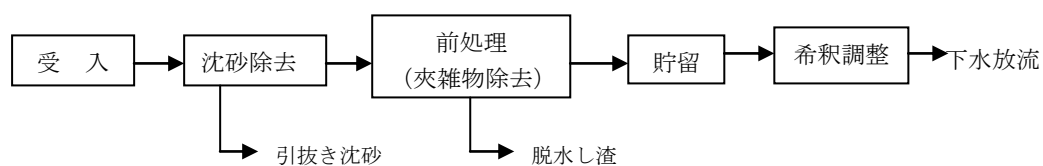
現行どおり、処理主体は組合とし、現体制を維持していくものとします。

②中間処理対象物

収集対象区域から発生するし尿及び浄化槽汚泥全量とします。

③処理方式

【希釈投入方式：受入・前処理、希釈投入】



④処理能力

し尿処理施設の処理能力は以下のとおりです。

処理能力 : 20 kL/日

( し尿 : 10 kL/日  
浄化槽汚泥 : 10 kL/日 )

⑤経年処理量の見込み

し尿処理基本計画より、平成15年度までの過去の実績に基づくし尿処理量の実績及び予測を以下に示します。

— し尿等処理量の予測（全体） —

年 度	し尿 (kL/日)	浄化槽汚泥 (kL/日)	合 計 (kL/日)	変動係数考慮		1. 3
				し尿 (kL/日)	浄化槽汚泥 (kL/日)	合 計 (kL/日)
1 5	8.1	9.9	18.0	11	13	24
1 6	7.0	7.3	14.3	9	9	18
1 7	6.3	7.5	13.8	8	10	18
1 8	5.6	6.1	11.7	7	8	15
1 9	5.0	5.9	10.9	7	8	15
2 0	4.7	5.4	10.1	6	7	13
2 1	3.7	5.3	9.0	5	7	12
2 2	4.4	5.0	9.4	6	7	13
2 3	4.3	4.8	9.1	6	6	12
2 4	4.2	4.6	8.8	5	6	11
2 5	4.0	4.3	8.3	5	6	11
2 6	3.7	4.1	7.8	5	5	10
2 7	3.6	3.8	7.4	5	5	10
2 8	3.3	3.7	7.0	4	5	9
2 9	3.2	3.6	6.8	4	5	9
3 0	3.1	3.3	6.4	4	4	8
3 1	2.9	3.0	5.9	4	4	8
3 2	2.7	2.9	5.6	4	4	8
3 3	2.7	2.9	5.6	4	4	8

過去の実績に基づく将来推計計算結果により、今後の最大処理量は15kL/日となります。

— し尿処理量の予測（長岡京市分） —

年 度	し尿 (kL/日)	浄化槽汚泥 (kL/日)	合 計 (kL/日)	変動係数考慮		1. 3
				し尿 (kL/日)	浄化槽汚泥 (kL/日)	合 計 (kL/日)
1 5	4.6	7.7	12.3	6.0	10.0	16.0
1 6	3.8	5.2	9.0	4.9	6.8	11.7
1 7	3.6	5.3	8.9	4.7	6.9	11.6
1 8	3.0	4.6	7.6	3.9	6.0	9.9
1 9	2.6	4.3	6.9	3.4	5.6	9.0
2 0	2.4	3.9	6.3	3.1	5.1	8.2
2 1	2.4	3.8	6.2	3.1	4.9	8.0
2 2	2.2	3.5	5.7	2.9	4.6	7.5
2 3	2.1	3.3	5.4	2.7	4.3	7.0
2 4	2.0	3.1	5.1	2.6	4.0	6.6
2 5	1.9	3.0	4.9	2.5	3.9	6.4
2 6	1.7	2.8	4.5	2.2	3.6	5.8
2 7	1.6	2.6	4.2	2.1	3.4	5.5
2 8	1.5	2.5	4.0	2.0	3.3	5.3
2 9	1.5	2.4	3.9	2.0	3.1	5.1
3 0	1.4	2.2	3.6	1.8	2.9	4.7
3 1	1.3	2.0	3.3	1.7	2.6	4.3
3 2	1.2	1.9	3.1	1.6	2.5	4.1
3 3	1.2	1.9	3.1	1.6	2.5	4.1

### (3) 最終処分計画

#### ●最終処分の方針

平成19年度より中間処理におけるし尿の下水道投入への移行を行い、処理工程中に発生する最終処分対象物の適正な処分を図ります。

#### ●最終処分の方法

##### ①最終処分の実勢体制

現行のとおり、最終処分の主体は組合とし、現体制を維持していくものとします。

##### ②最終処分対象物

最終処分対象物は、引抜き沈砂とします。

##### ③処分方法

引抜き沈砂は、これまでどおり定期清掃委託による処分とします。

前処理後の脱水し渣は、積出しとします。脱水し渣は、含水率60%の紙、布、脱脂綿等繊維類、ビニール類であり、ごみ焼却施設で焼却処理します。

##### ④計画処分量

最大時計画処分量 : 200kL/日 (15kL/日処理)

— 最終処分量の予測（全体） —

（単位：kg/日）

	H17	H22	H23	H25	H28	H31	H33
し尿引き抜き沈砂	160.0	120.0	120.0	100.0	80.0	80.0	80.0
浄化槽汚泥引き抜き沈砂	75.0	52.5	45.0	45.0	37.5	30.0	30.0
最終処分量	235.0	172.5	165.0	145.0	117.5	110.0	110.0

— 最終処分量の予測（長岡京市分） —

（単位：kg/日）

	H17	H22	H23	H25	H28	H31	H33
し尿引き抜き沈砂	94.00	58.00	54.00	50.00	40.00	34.00	32.00
浄化槽汚泥引き抜き沈砂	51.75	34.50	32.25	29.25	24.75	19.50	18.75
最終処分量	145.75	92.50	86.25	79.25	64.75	53.50	50.75